

中小機構「ジエグテック」本格始動1年

大手企業のニーズとマッチング

中小企業基盤整備機構（中小機構）が運営する国内初のビジネスマッチングサイト「J-GoodTech（ジエグテック）」が、昨年秋季の本格始動以来1年が経過した。大手企業のニーズと、優れた技術を持つ中小企業のシーズとをWeb上でマッチングさせることを狙いとするこのサイトは、2015年度末には登録企業数3000社が見込まれるまでに成長した。累計閲覧者数14万人以上で、商談マッチング件数も約400件に達するなど、着実に成果を挙げている。中小機構は、ジエグテック2年目を迎えた今、中小企業の海外展開支援や、従来の製造分野に流通分野も加えるなど、サイトの内容のさらなる充実と、支援規模の拡大を進めていく。

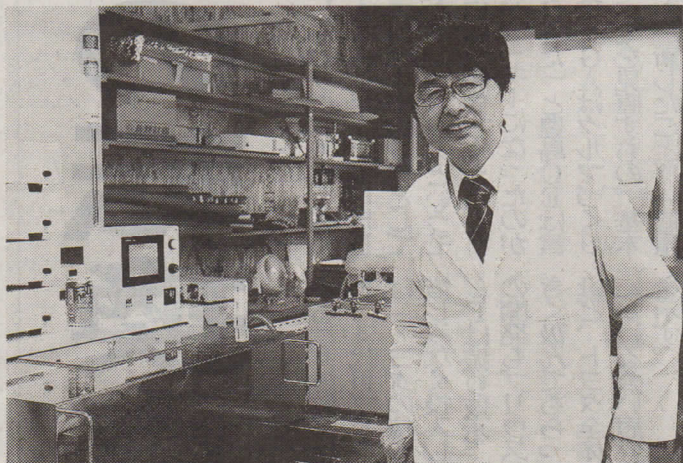
優れた技術を有効に

超音波バリ取り技術で随一の技術を誇る「ブルー・スターR&D（柴野美雪代表取締役、神奈川県相模原市）」は、ジエグテックを活用して、業容拡大の足掛かりを海外に見出した好事例だ。

通常、部品を切断、切削する際に加工面に不要な突起であるバリが発生し、大概の製品の製造過程ではこのバリ取り作業が必要になる。同社は、精密機械部品でも素材を傷めずにきれいにバリを除去できる「超音波バリ取り洗浄装置」を開発、製品化し、製

造業界では人海戦術に頼らざるを得なかったバリ取り作業の効率化を狙う。

ブルー・スターR&Dの柴野会長



だけで洗浄装置を生産、輸出するのは限界があった。

同社の柴野佳英会長は「一洗浄装置の需要のある海外で生産委託先を見つけた方が効率が良いのだが、この委託先をいかに見つけるのが課題だった。悩んだ末に相談したのが中小機構で、中小企業の海外進出関連施策が豊富な点も、サイトへの海外企業の登

以来同社では、社内担当者を通じて海外進出に悩む中小企業支援を強化していく。サイト上での企業情報の翻訳により、言葉の壁を無くした円滑な商談を後押しするほか、アジア諸国の企業向けにサイトの認知度向上を目的としたテレビCMを流し、ジエグテックへの海外企業登録の増加を狙う。海外企業の登録数を増やすことで、国内中小企業の海外進出などのニーズを従来以上に効率的に生かせる環境を整えていく。また、SNS（ソーシャルネットワークサービス）など、より身近なコミュニケーションサイトを活用した情報発信を積極化させていく方針だ。

成功事例続々と 会員3千社も射程

ただ、海外等の製造業の量産工場にこれを普及させたくても、社員数15人の自社の力

良かったほか、ジエグテックの存在も知り、すぐに登録し

録増に期待したい。今後は情報発信やニーズへの提案を積極化していきたいという。

〈ジエグテックHPアドレス〉
<https://jgoodtech.smnj.go.jp>
 「ジエグテック」で検索